

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	農地の権利移動及び転用許認可事務事業				
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	<b>担当課</b> 農業委員会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>農業委員会が専属的に行う農地の権利移動の許可や農地転用許認可事務について、農地行政の適正な執行を目指すとともに、農業委員会会報に各種情報の掲載やパンフレットの配布により各種許可申請等についての周知を図る。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
許可申請等の処理件数	件	867	810	700	700

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
毎月25日 各種許可申請書の締切日 毎月10日 農業委員会総会 月3回(10日、20日、月末) 市街化区域内の農地転用届出の 締切日 年2回 農業委員会会報発行	<p>農家の生活向上、農地の集積などを適切に行うため、農地法や農政に関する農地の許可申請等を受付、毎月1回農業委員会総会で審議決定し、申請者に速やかに許可書の交付を行っている。処理件数は810件(目標700件)であった。</p> <p>市街化区域内の農地転用届は、月3回の締切日进行、締切後、1週間以内に受理通知書の交付を行っている。</p> <p>農業委員会会報は、会報委員を選任し1月と6月に発行しており、その都度内容の充実を図っている。</p>	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	各種許可等の適正な執行を進めるとともに、農業委員会会報及びパンフレットの配布により各種許可申請等についての周知を図っていく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	事務費増のため
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	995	1,045	1,364	
事業費計(A)	995	1,045	1,364	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	4	4	4	他法令の許認可については、市の関係部署などと協働で取り組む。
	業務時間	7,500	7,500	7,500	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	23,783	23,753	23,940		
トータルコスト(A+B)	24,778	24,798	25,304		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	遊休農地の利用状況確認及び利用意向調査事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	—	<b>担当課</b>	農業委員会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>農地の保全と有効利用を進めるため、毎年1回、市内にある農地の利用状況について調査を実施し、遊休農地の農業上の利用の推進を図ることを目的とする。</p> <p>利用状況調査により遊休農地があるとき又は耕作の業務に従事する者が不在となったとき等、農地の所有者等に対し利用意向調査を行い、今後の利用意向を確認するとともに農地中間管理機構への貸し付けを促す。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
遊休農地面積	ha	60	57.3	52	47

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
8月～11月 利用状況調査 12月～2月 利用意向調査	<p>8月から11月に職員、農業委員及び農地利用最適化推進委員が現地確認による利用状況調査を実施した。</p> <p>利用状況調査の結果、遊休化していた農地については全体の2.6%に当たり、新たに調査対象となった農地の筆数24筆に対し利用意向調査書を実施した。回答率は83%で、今後の利用の意向について確認を行った。令和4年度の遊休農地面積は57.3ha(目標55ha)で、前年度より2.7ha減少した。</p> <p>遊休農地については、一部解消は見られるものの、農業者の高齢化が進んでいることから、担い手の育成・確保及び担い手への農地の集積が課題となっている。</p>	B (概ね予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	<p>今後も利用意向調査を行うとともに、農地の有効利用、担い手への農地集積など、遊休農地の解消を進めていく。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				県支出金減のため
	県支出金	737	590	1,015	
	地方債				
	その他	2	3	4	
	一般財源	296	296	296	
事業費計(A)	1,035	889	1,315	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	4	4	4	担い手の育成・確保については、市農政課及び関係機関等と協働で取り組む。
	業務時間	100	100	100	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	317	317	319		
トータルコスト(A+B)	1,352	1,206	1,634		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	農業経営基盤強化促進事業				
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	<b>担当課</b> 農業委員会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、農用地の利用集積や経営の改善・管理の合理化など、農業経営基盤の強化を促進する。</p> <p>利用権の設定は、耕作に伴う期間借地の設定であり、終期の到来により設定が終了することから、担い手による農業経営の計画が立てやすい事業である。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
農用地利用集積面積	ha	345	387	397	407

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
毎月25日 農用地利用集積計画(案)提出締切日 毎月10日 農業委員会総会で承認	貸し手、担い手からの農用地利用集積計画(案)を農業委員会総会において承認を行い、令和4年度の実績のとおり集積が図られ、規模拡大に意欲のある担い手に有利な経営安定対策となっている。 令和4年度の農地利用集積面積は387ha(目標355ha)で、前年度より42ha(12.1%)増加し、農地の集積が進められた。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	貸し手、担い手の情報を把握し農地の利用集積を進めることで、担い手への経営安定対策を図っていく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				事務費減のため
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	403	390	468	
事業費計(A)	403	390	468	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	4	4	4	担い手への斡旋については、市農政課及び関係機関等と協働で取り組む。
	業務時間	1,200	1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	3,805	3,800	3,830		
トータルコスト(A+B)	4,208	4,190	4,298		